



ひかりのこつうしん No.9

2024/1/31

ひかりの子幼稚園

能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

2024年元日、どんなお正月をお過ごしでしたでしょうか？誰もがまさか元日に地震が起こることを想像することなく、家族、友人と新年を祝う矢先の出来事だったと思います。切羽詰まった声で「津波！逃げて！」を繰り返すアナウンサーの声に震え、次々と入る地震の情報に心を痛め、能登に住む人々の無事を祈りました。

1月の「平和を祈る」日の献金は「能登半島地震のために」、献金先は「オールこども石川」(被災地の保育施設及び各施設に従事する職員、また被災した県内すべての乳幼児及びその保護者を支援する活動について、就学前のこどもを対象とした支援団体)に決まりました。

3学期始園の日、元日に起こった地震のことをそれぞれのクラスで聞き合いました。

「ぐらぐらってなったよ」「おうちが揺れて怖かった」「電線がぶらぶらしてた」「机の下に隠れるんだよっておうちのの人に教えてあげた」と、日頃の避難訓練が実践に生きていました。

「みんなはまだ小さいから被災地に行って行方不明者を探したり、助けたりするボランティアはできないけれど、何かできることってあるかなあ？」の担任の問いかけに「ケガした人が元気になるようにお祈りする」「献金する」と答える子ども達。翌日から小さな手で献金を届けてくれる姿がありました。

その様子をインスタでお知らせすると、中学生になった卒園児が「献金先を探していました。ぜひ幼稚園に持っていきたい！」とお母様と共に訪れて下さり、その気持ちがうれしい再会でした。

以前、卒園児の保護者の方から伺ったお話です。

～各地で起こる地震の報道をみると『あっ！献金しなくっちゃ！』と小学生のお子さんがテレビに向かってつぶやくそうです。「困っている人を思いやる優しい気持ちを、幼稚園が育てて下さった。」～と話して下さいました。心に残り、あたたかい気持ちになります。



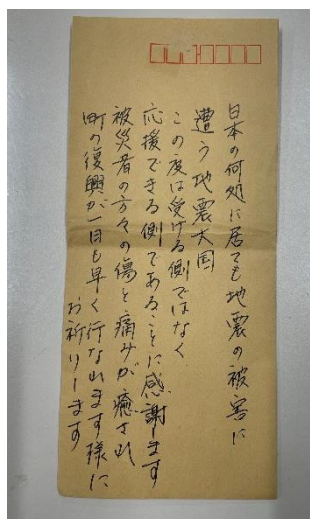
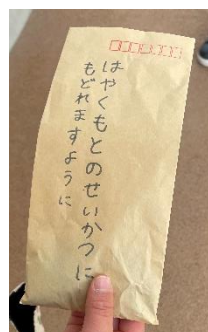
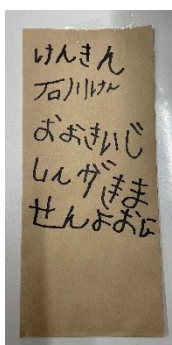
被災された方々が1日も早く穏やかな日々を送ることができますように、心からお祈りします。

皆さまのあたたかいお志に心から感謝して、105,376 円は「オールこども石川」に届けます。

石川県能登の街の復興をこれからも祈っていきます。

園長 松本 直子

★献金の封筒に書かれた応援メッセージ★



「日本の何処に居ても地震の被害に遭う地震大国 この度は受け側ではなく応援できる側であることに感謝します。被災者の方々の傷と痛みが癒され町の復興が一日も早く行われます様にお祈りします。」